



ほこすぎ

NO.464

令和7年7月30日
八戸市立豊崎小学校
全校児童34名
文責 前川原 泉音



たくましく成長した子どもたち 充実した夏休みを

校長 山口 徹

4月7日(月)に始まった令和7年度も、あっという間に4か月が過ぎようとしています。いよいよ夏休みに入りましたが、各家庭においてはいかがお過ごしでしょうか。



さて、今年度のこれまでの活動を振り返ってみますと、4月は、参観日・PTA 総会や1年生を迎える会、5月は、豊崎大運動会やいのちの会、6月は、宿泊学習や新体力テスト、7月は、親子健康会議や修学旅行など、様々な行事等を行い、充実した毎日を過ごすことができました。

7月からは暑さの続く毎日でしたが、エアコンの適切な使用に加え、熱中症指数計で測定し、場合によっては活動を制限するなどして、子どもたちの健康第一に活動してきました。

そんな中でも、子どもたちは授業の中での試行錯誤し学び合い、さまざまな体験活動や学校行事を通して、気づき・考え・学んできました。休み時間には友だちを誘い合って仲良く遊ぶ姿も。

どの場面においても、豊崎小学校の子どもたちのもつ前向きで心優しい姿やたくましく成長する姿がみられました。



1年生を迎える会
1年生も豊崎小の一員



生活科 さつまいも栽培
2年生が1年生のお手本です



宿泊学習
3～5学年 協力できた2日間



修学旅行
最高の思い出ができました

夏休み前に、全校児童で「いのちの会(5月に実施)」の振り返りの時間を設けました。5月に全校で話し合っただけで決めたあては…
「心をこめて 花を育てて

いのちの大切さを考える」

でした。果たしてどうだったか?

子どもたちの中には、いつも水やりをした人、ときどき水やりを忘れていた人、週に1回くらいしか水やりができなかった人などさまざまでした。そうして仲間の意見を聞き、交流し合うことで、一人一人が自分自身を振り返る機会になったのではないかと思います。なかには、「気付いたときに他の人の花にも水やりをした」という人も。

5月に植えた花たちは、こうして玄関先で、今もきれいに咲き続けています。

(夏休みは職員が水やりをします)

この時期にこのような時間を設けたのには、もう一つねらいがあります。「いのちの大切さを考える」きっかけにすることです。お花も動物も人間も、大切ないのち。今回の話し合いで、気付いたことや考えたことは、きっと夏休み中も自分のいのちを大切にしようとする心につながるのではないのでしょうか。

夏休みも、安全・安心を心がけ、充実した毎日を過ごすことを心から願っています。